



# 新発田市立東中学校だより

教育目標「進んではげむ、心ゆたかな生徒」

令和6年5月28日

第2号

☎ 0254-22-3824

📠 0254-26-3543

新年度が始まって2か月が過ぎようとしています。日常の場面や、様々な活動の中で、東中学校の生徒の素晴らしさを実感している日々です。そんな中、5月2日（木）に「全校遠足」がありました。出発式で、生徒のみなさんをお願いしたことは『宝さがし』でした。

## 人や地域の「宝さがし」

～5月 「全校朝会」 校長講話より抜粋～

校長 今野 由紀子

「全校遠足」の前に、人や地域の宝さがしをお願いしました。

みなさんは、「仲間」「自分」「自然」「地形」…などから、なにか良さを探すことができたでしょうか。私が見つけた「宝」を紹介します。

1つ目は、「みなさん」です。4月の始業式、入学式で私が話したこと、それは「人生の主役は自分」であり、みなさんは、「自分の人生というストーリーの主人公」だということでした。様々な物事に対して、「自分で選択して、自分で決めて、自分で動く」そんな人になってほしいという話をしました。全校遠足での皆さんは、一人一人が、自分のめあてをもって、自分で決めて、自分で動く姿がありました。

「赤谷の家まで挑戦する!」、「あとすこし! 苦しいけど頑張る!」と苦しさに向かう姿、仲間に「頑張れ。頑張れ。」と励ます姿、お互いに、「よく頑張ったね!」とねぎらう姿、仲間の背中を押しながら励ましあって歩く姿がありました。それは、自分で決めて、自分で動いたからこそその姿だったと思います。

2つ目は、先生たちです。みなさんを大切に思う先生たちがたくさんだということです。当日は、朝の6時すぎから旗を設置に行った先生もいました。みなさんへの声掛けや、あたたかなまなざし、みなさんのゴールを自分のことのように喜び、最後の一人が帰るまで笑顔で見送る先生たちでした。

3つ目は、東中は自然豊かな素晴らしい学区であるということです。

「やってみよう」

「ありがとう」

人生の主役は自分  
自分で決めて、自分で動く

人とつながる  
感謝する心

自分を幸せにする  
周りを幸せにする

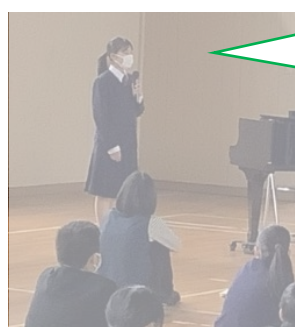
“「やってみよう」という気持ち” これは、自分で決めて自分で動く心です。そして、“「ありがとう」という気持ち” これは、人とつながって感謝する心です。この気持ちは、**自分を幸せに、周りを幸せにする大切な気持ち**だと言われています。これからの学校生活でも、ぜひ「やってみよう」という気持ち、「ありがとう」という気持ちを大切に過ごしていってほしいと思います。

当日は、PTA 会長さんはじめ、大勢の保護者の皆様に、ボランティアとしてご協力いただきました。また、区長さん方にもトイレや公会堂を貸していただき、多くの方から支えられ行うことができました。感謝申し上げます。

## 全校朝会の様子



～その時の情景を思い出しながら、  
「自分が見つけた宝」を周りの人と振り返りました～



### <3年 ○○ ○○ さんが見つけた宝>

いつも車で通っている場所も、歩いたことで、自然の良さを発見することができました。また、地域の方々との挨拶を通して、地域の方々の温かさを知ることができました。大変でしたが、友達と支え合いながら歩ききること、友達の良さにも気付くことができました。

### <横井 佑来 先生が見つけた宝>

一番印象に残っているのは、最後に東中でみなさんがアイスを食べている時の笑顔です。その笑顔から、仲間と乗り越え、自分の限界まで挑戦した達成感を感じました。アイスもそんな味だったと思います。

体育館の後方にいた阿久澤先生の方に、誰に言われるでもなく、自然に体ごと向きを変えて話を聞く3年生のみなさん。話す人に対し、目だけでなく、体全部で聞こうとする姿に感動しました。



### <阿久澤 隆成 先生が見つけた宝>

普段歩かない距離なので、とても疲れたと思いますが、きつい表情をせずに友だちと笑顔で会話をし、励まし合っている姿や、明るく元気よく歩いている姿がとても素敵でした。

## 全校遠足スナップ







## 「古地図鑑賞会」で、故郷新発田の素晴らしさを学びました！5月1日(水)

歴史図書館の鶴巻様よりお越しいただき、「正保越後国絵図」のレプリカを体育館に広げ、地域の歴史を学ぶ授業をしていただきました。これは、江戸幕府の命により作成されたもので、一辺が 10m×5.4m もあり、村名が網羅された越後国全体図としては最古で最大とのこと。学校付近や自分の住んでいる所の当時の様子や、米どころ新潟が発展していく様子を学ぶことができました。



### 令和6年度生徒会スローガン

# 花束

～咲かせよう みんなの思いを1つに～

#### <重点>

○生徒一人ひとりが  
過ごしやすい学校を  
つくるための校則の  
見直し。

○目安箱を設置して  
生徒一人ひとりの声  
を取り入れる。

今年度の生徒会スローガンです。一輪では物足りなさがあっても、束になることで見る人を圧倒し、素敵な気持ちにさせる花束のように、私たち一人ひとりが個性や努力の花を咲かせ、合わせることができる場所（学校）にしたいという思いが込められています。